



報道機関各位

平成30年7月3日

健康福祉部健康増進課
担当者 佐野、野路、上藤
電話番号 0776-20-0351
県庁内線番号 2625、2626

細菌性赤痢の発生について

1 概要

平成30年7月2日、丹南健康福祉センター管内の医療機関から同センターに対し、細菌性赤痢患者の発生届出があった。このため、丹南健康福祉センターは、患者の健康状態、行動等についての調査を実施した。

2 患者の状況

- (1) 患者 丹南健康福祉センター管内在住の40代 男性 1名
(2) 発症日 平成30年6月25日
(3) 初診日 平成30年6月27日
(4) 入院日 入院はしていない
(5) 便検査開始日 平成30年6月27日 / 結果判明日 平成30年7月2日
(6) 主な症状 発熱、下痢、腹痛
(7) 現在の状態 症状は回復している
(8) 海外渡航歴 有（渡航先：東南アジア 帰国日6月26日）

3 感染源、感染経路 渡航先の東南アジアでの感染

4 発生に伴う対応

丹南健康福祉センターにおいて、下記の措置を実施した。

- ① 本人・接触者の健康状態、本人の行動および喫食状況の調査
- ② 衛生教育の実施
- ③ 自宅の消毒の指示

5 接触者の状況

5名症状なし。（5名に対し検便を実施）

6 近年の細菌性赤痢発生状況

(人)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年 (全国は暫定数)	平成30年 (全国は6月24日現在)
全 国	143	158	156	121	141	88
福 井 県	1	0	0	0	0	1

※ 県内での発生は、平成25年9月16日以来

7 細菌性赤痢について ※三類感染症（O-157、コレラ等）

- ・病原体：赤痢菌。
- ・潜伏期間：1日～5日。
- ・主な感染経路：流行国で赤痢菌に汚染された飲食物を経口的に摂取して感染する。
- ・主な症状：全身の倦怠感を伴う発熱、腹痛、水様性下痢を呈する。しぶり腹、血便も見られる。

8 海外へ渡航される方へ

〔予防方法〕

- ・細菌性赤痢が流行している国（インド、インドネシア、中国）では、生水・氷・生の魚介類（刺身・エビなど）、カットフルーツ、生野菜は避けましょう。屋台のヨーグルト飲料や氷で感染した例も報告されています。
- ・不衛生な食品・生の食品などの摂取を避けることがまず重要なことですが、無理な旅行日程などによって体調を崩すことがないよう心掛けることも大切です。